

番号	85	鹿島おどり		
所在地		鹿島市中心商店街		
災害別		昭和３７年（１９６２）　水害		
目的別		伝　承	始まり	昭和３８年～
特記事項				

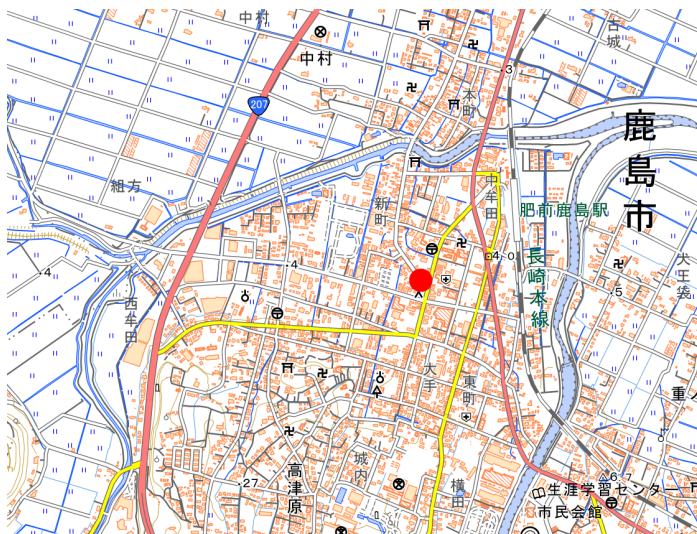


毎年8月上旬に2日間にわたり行われている鹿島おどりは、昭和37年7月8日の大水害で意気消沈している市民を元気づけようと、鹿島青年会議所が中心となり、翌年の昭和38年（1963）8月15、16日に鹿島駅前広場で開催されたのが始まりである。

その後、会場が鹿島の中心商店街となり、昭和51年に集中豪雨のため中止になった以外は、今日まで市民総参加の祭りとして市民に親しまれている（令和2年以降、コロナ感染拡大のため中止が続いた）。

祭りの始めの神事では祐徳稲荷神社の宮司が祝詞の中で昭和37年の水害について触れられるほか、来賓の祝辞や主催者のあいさつの中でも当時の水害のことが述べられるなど、今でも大水害の伝承が続けられている。





国土地理院電子国土 Web